Roland

PM-3

PERSONAL MONITOR SYSTEM

取扱説明書

このたびは、パーソナル・モニター・システム PM-3 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.2 ～ 3）と「使用上のご注意」（P.4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

主な特長

- V ドラムをはじめとする電子ドラムに最適なモニター・システムです。
- ウーファー＋スピーカー× 2 の構成で、アコースティック・ドラムを叩いているような立体的なサウンドを再生します。
- ウーファー部には、力感あふれる重低音を再生する、2 ユニット構成のアクティブ・デュアル・ドライブ方式を採用しています。
- ドラム音源を接続するメイン・インプットのほかに、ステレオのミックス・インプットとライン・アウトを装備。練習や録音システムに活用できます。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意
感電の恐れあり
キャビネットをあけるな

注意： 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	● は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、● の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。

- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

⚠警告

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  - ○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ○ 雨に濡れる場所
  - ○ ホコリの多い場所
  - ○ 振動の多い場所

- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

- 電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

警告

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。
  - ○ 電源コードやプラグが破損したとき
  - ○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - ○ 機器が（雨などで）濡れたとき
  - ○ 機器に異常や故障が生じたとき

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。

- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

- この機器を設置するときや車に積むときなど、動くと危険な場合は、すべてのキャスターを外してください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差ししないでください。

- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

- お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください（P.8）。

- 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

- サムスクリューを外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。

使用上のご注意

2 ～ 3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所で使用しないでください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

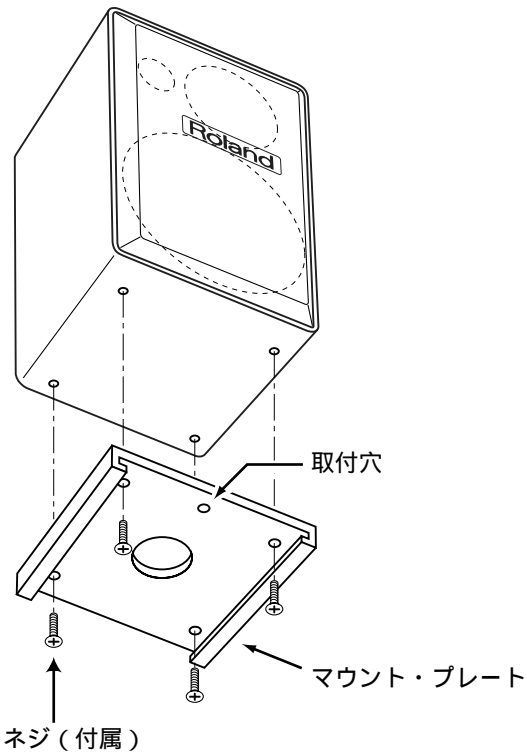
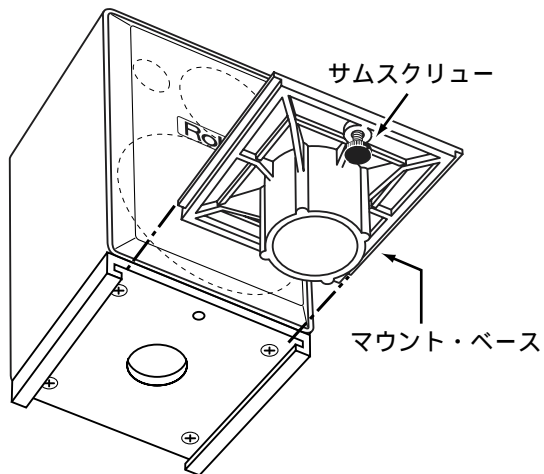
- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- カーペット部の通常のお手入れは、毛の固いブラシで手入れをしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

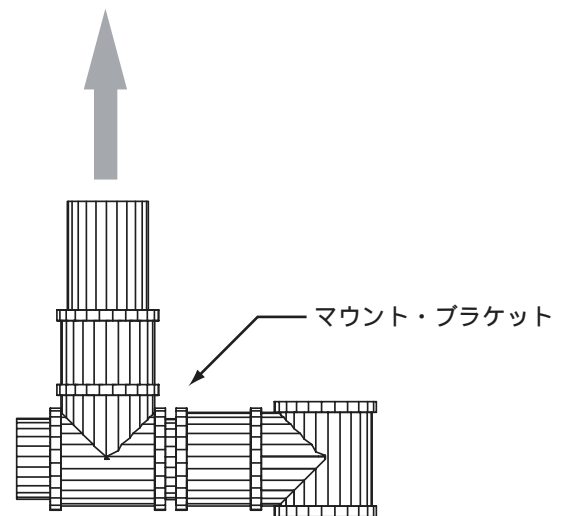
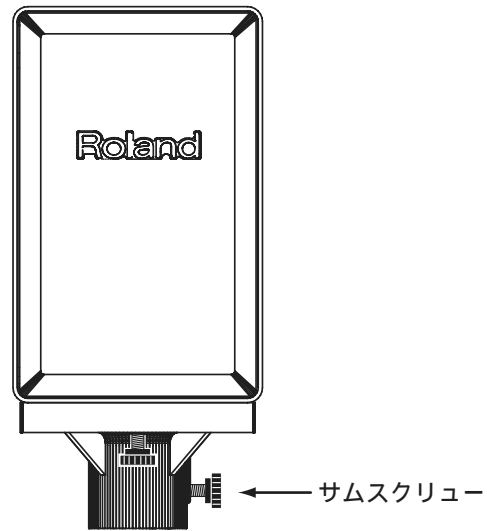
修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
  - ○ 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

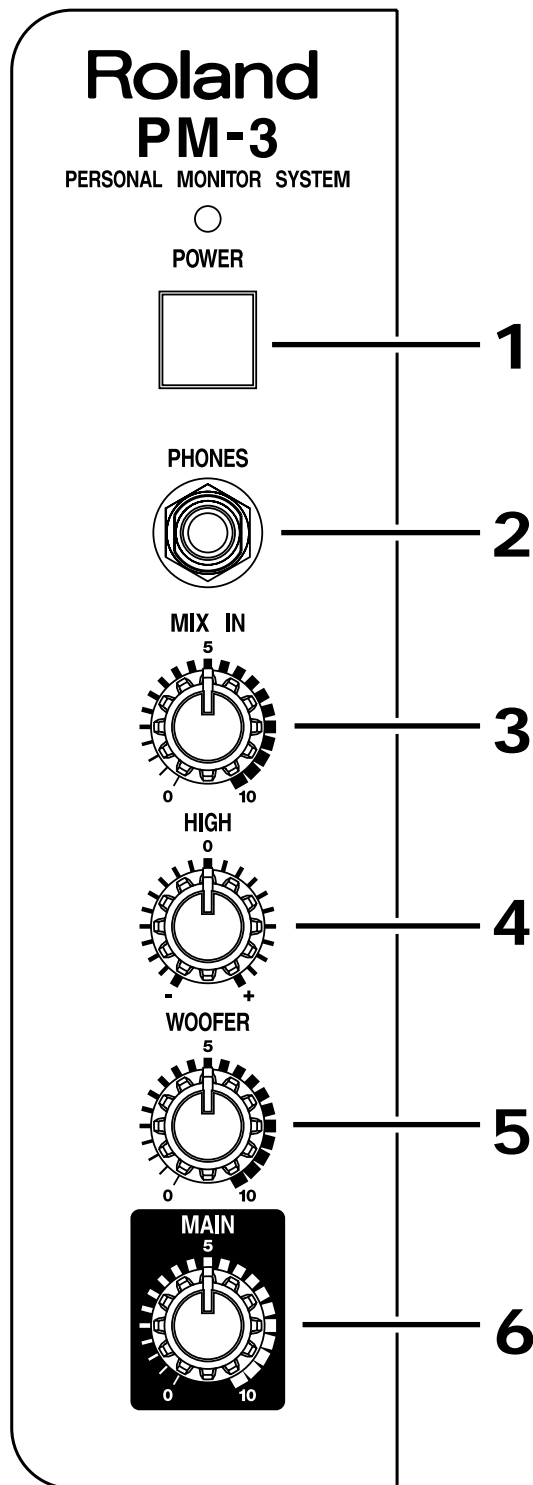
マウント・ブラケットの取り付けかた

1. スピーカーの底面にマウント・ブラケットのプレートを、サムスクリューの取付穴が前側になるように、付属のネジで取り付けます。

2. プレートの溝に、マウント・ブラケットのベースを差し込みます。サムスクリューが前側に来るようにしてください。

3. サムスクリューを回し、ベースをプレートに固定します。

4. マウント・ベースに、マウント・ブラケットを図のように差し込みます。

5. サムスクリューを回し、ブラケットを固定します。

ドラム・スタンドへのスピーカーの取り付けかたは、「セッティング例」（P.9）をご覧ください。

各部の名称とはたらき

コントロール・パネル部

1. 電源スイッチ

電源をオン／オフします。オンにするとインジケーターが点灯します。

2. ヘッドホン・ジャック

ヘッドホンを 接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーからは音を出力しません。

3. ミックス・イン・ボリュームつまみ

ミックス・インプット・ジャック **8** に接続した機器の音量を調節します。

4. ハイつまみ

高域を調節し ます。右に回すと強調され、左に回すとカットされます。

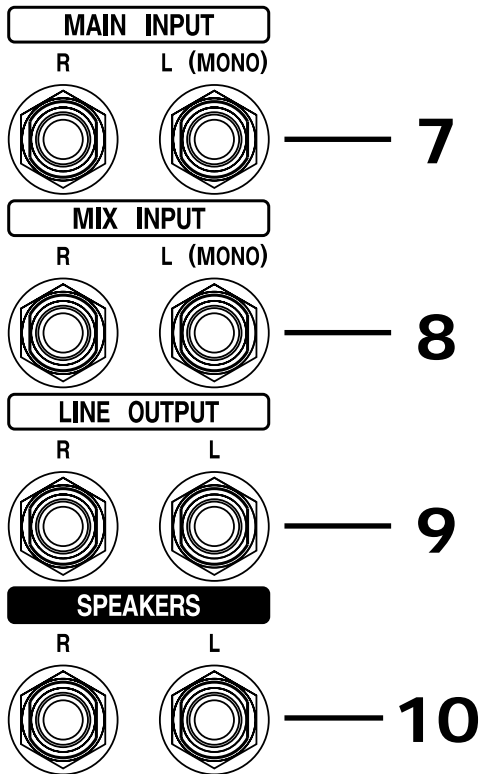
5. ウーファー・ボリュームつまみ

本体ウーファーの 音量 を調節 します。左に回しきるとウーファーからは音を出力しません。

6. メイン・ボリュームつまみ

メイン・インプット・ジャック **7** に接続した機器の音量を調節します。

※ 本機は、出力レベルの低いドラム音源にも対応できるよう入力感度を高めに設定しています。そのため、出力レベルの高いドラム音源（TD-10 など）を接続した場合、音量を上げすぎると音が歪むことがあります。

ジャック部（サイド・パネル）

7. メイン・インプット・ジャック

ドラム音源を接続します。モノラル出力の機器は L (MONO) ジャックに接続します。

8. ミックス・インプット・ジャック

CD/MD プレイヤーなどを接続します。モノラル出力の機器は L (MONO) ジャックに接続します。このジャックに入力された信号は、ライン・アウトプット・ジャック **9** からは出力されません。

9. ライン・アウトプット・ジャック

メイン・インプット・ジャック **7** に入力された信号をそのまま出力します。

10. スピーカー・ジャック

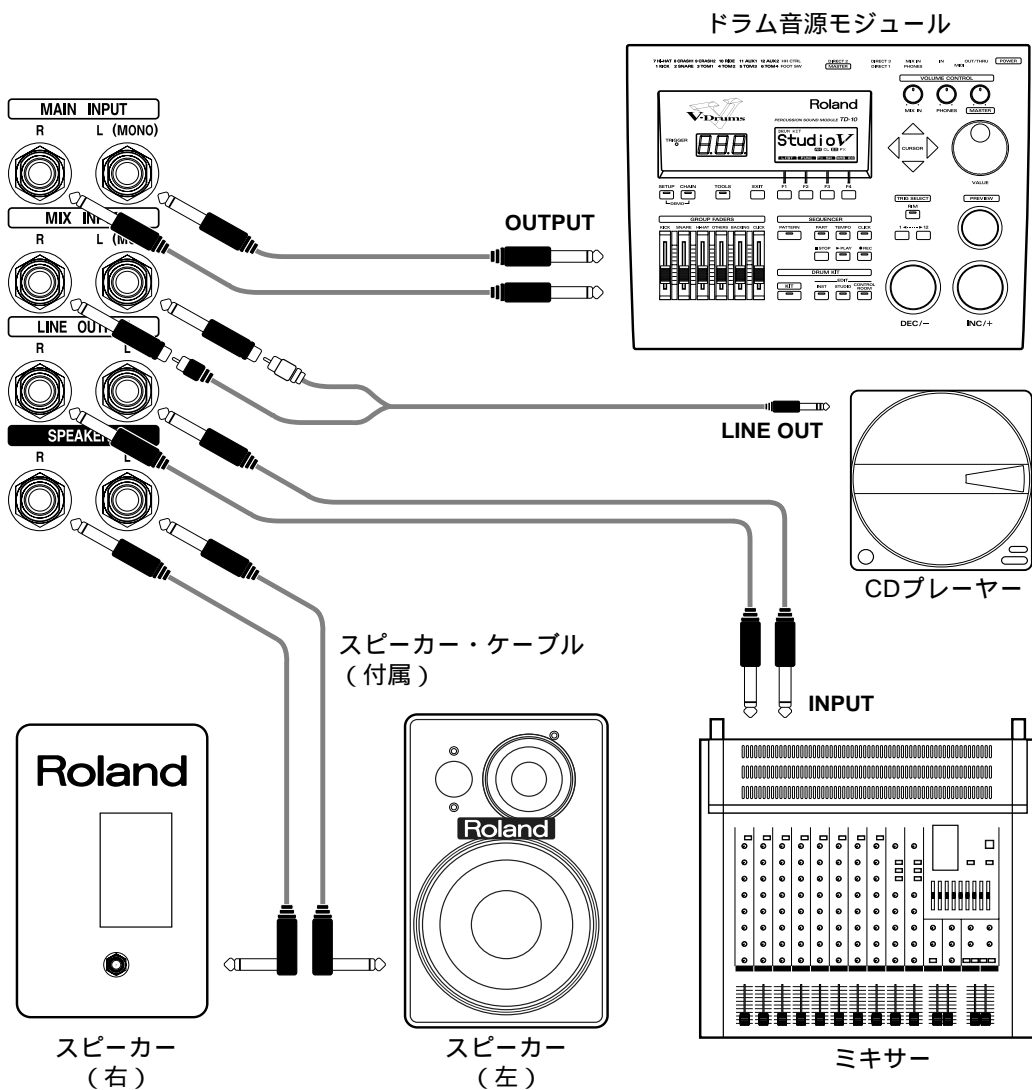
付属のスピーカーを接続します。接続には、付属のスピーカー・ケーブルをお使いください。

※ 付属のスピーカー以外は接続しないでください。

ACTIVE DUAL DRIVE

外部に直接放射するウーファーと、キャビネット内部に同じ向きに配置したバスレフ型ウーファーを同相でドライブすることにより、小型でありながらキャビネット・サイズを超えたアタックのある重低音再生を可能にするのがアクティブ・デュアル・ドライブ方式です。

接続のしかた／電源の入れかた

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

電源の入れかた／切りかた

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. PM-3 および各接続機器の音量つまみがすべて 0 になっていることを確認します。

2. メイン・インプット・ジャック、ミックス・インプット・ジャックに接続した機器の電源を入れます。

3. PM-3 の電源を入れます。

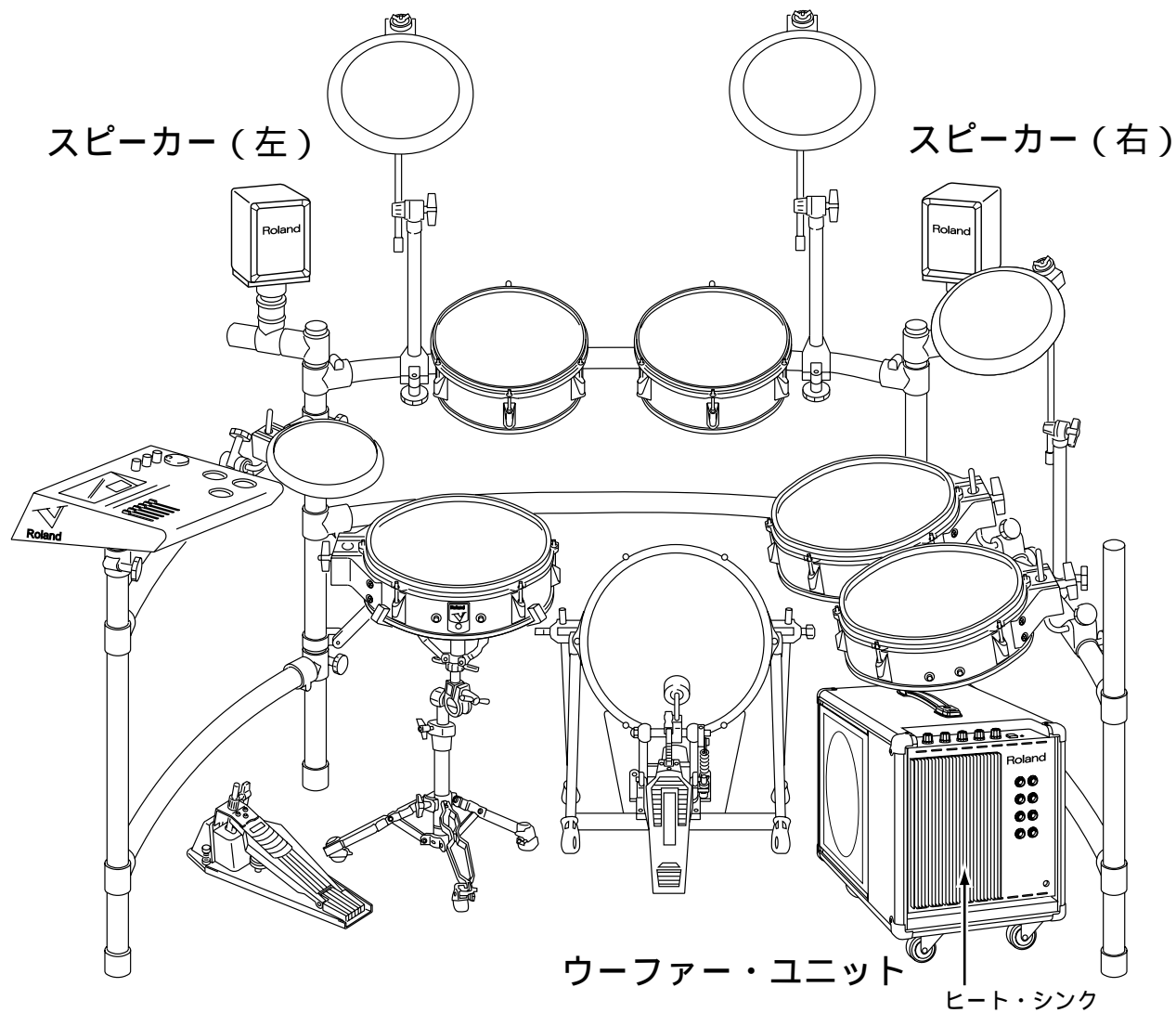
※ 音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

4. ライン・アウトプット・ジャックに接続した機器の電源を入れます。

5. 各機器の音量を調節します。

※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、接続した機器の音量が小さくなることがあります。抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCSシリーズなど）をご使用ください。

電源を切るときは、各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

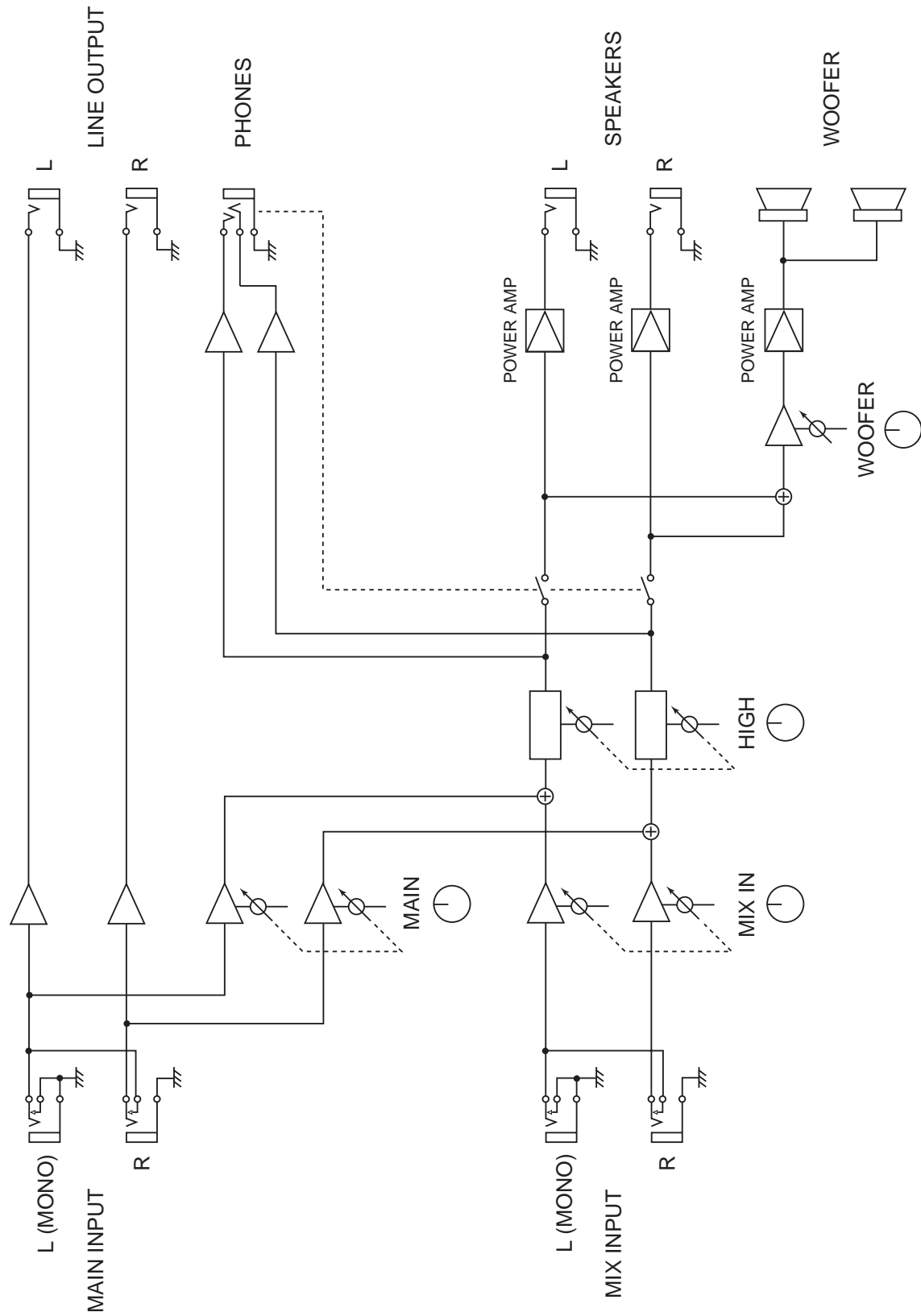
セッティング例

付属のマウント・ブラケットを使用して、スピーカーをお持ちのドラム・スタンドに取り付けてください。

※ 付属のスピーカー以外のスピーカーは、絶対に使用しないでください。

※ サイド・パネルのヒート・シンクをふさがないように設置してください。また、布やカーテンなどがかからないようにご注意ください。

※ ヒート・シンクは上図のように置いたときに冷却効果があります。横倒しにしたり、上下逆さに設置したりしないでください。

ブロック・ダイヤグラム

LINE OUTPUT
L
R
PHONES
SPEAKERS
L
R
WOOFER
POWER AMP
POWER AMP
POWER AMP
WOOFER
HIGH
MAIN
MIX IN
L (MONO)
MAIN INPUT
R
L (MONO)
MIX INPUT
R

主な仕様

システム構成

スピーカー（× 2）＋ ウーファー・ユニット

定格出力

スピーカー	50 W ／ 8 Ω × 2
ウーファー・ユニット	100 W ／ 4 Ω
合計	200 W

規定入力レベル

メイン・インプット	-10 dBu
ミックス・インプット	-10 dBu

規定出力レベル

ライン・アウトプット	-10 dBu

スピーカー

4" ウーファー + 2" ミッドレンジ + 1" ツィーター

ウーファー・ユニット

10" ウーファー × 2

コントロール

メイン・ボリュームつまみ
ウーファー・ボリュームつまみ
ハイつまみ
ミックス・イン・ボリュームつまみ
電源スイッチ

接続端子

メイン・インプット・ジャック（L ／モノ、R）
ミックス・インプット・ジャック（L ／モノ、R）
ライン・アウトプット・ジャック（L、R）
スピーカー・ジャック（L、R）
ヘッドホン・ジャック

エンクロージャー形式

スピーカー	密閉式
ウーファー・ユニット	アクティブ・デュアル・ドライブ

電源

AC 100 V（50 ／ 60 Hz）

消費電力

120 W

外形寸法

スピーカー
118（幅）× 115（奥行）× 186（高さ）mm

ウーファー・ユニット
555（幅）× 335（奥行）× 450（高さ）mm

質量

スピーカー	1.6 kg（片側）
ウーファー・ユニット	30 kg

付属品

取扱説明書
保証書
マウント・ブラケット × 2
マウント・ブラケット取付用ネジ × 8
スピーカー・ケーブル × 2

※ 0 dBu = 0.775 V

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。
If you should require an English Owner’s Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

ローランド株式会社

17055110　3*RAD